

乾癬性 関節炎



- **乾癬性疾患**とは乾癬や乾癬性関節炎のある人の関節や皮膚の炎症を指します。
- **乾癬性関節炎**は炎症性関節炎の一種で、慢性の自己免疫性皮膚疾患である乾癬を患っている人の一部に発症します。関節の痛み、こわばり、腫れを引き起こし、治療せずに放置すると、不可逆的な関節の破壊につながる可能性があります。乾癬性関節炎はまた、目、心臓、肺、腎臓などの体の他の部分にも炎症を引き起こすことがあります。
- しばしばQoLに大きな影響を与えるうつ病、不安神経症、糖尿病、炎症性腸疾患などの併存症を伴います。
- 乾癬性関節炎の特性や影響、そしてその症候や関連する症状についての理解が不足しています。
- それにもかかわらず、PsAの管理にはまだ不確定な要素があり、ガイドラインも不明確であるため、良好な転帰に至るのは困難です。
- **GRAPPA、EULAR、ACR**の最新のガイドラインでは様々な形式の目標達成に向けた治療戦略が提唱されています。

GRAPPA: Group for Research and Assessment of Psoriasis and Psoriatic Arthritis
EULAR: European Alliance of Associations for Rheumatology
ACR: American College of Rheumatology

GRAPPAガイドライン 目標達成に向けた治療法

- 目標達成に向けた治療は糖尿病や心臓病の治療戦略として始まったものですが、現在では関節リウマチやその他の炎症性疾患の治療法として最も広く受け入れられています。
- 乾癬性関節炎では、目標達成に向けた治療はあまり一般的ではありませんが、新しいガイドラインでは目標達成に向けた治療が推奨されています。
- 多くの場合、すべての部位に症状があるわけではありませんが、治療目標を立てる際にはどの部位に症状があるかを考慮に入れなければいけません。

併存疾患については？

- 乾癬性関節炎には、うつ病、不安神経症、糖尿病、炎症性腸疾患など、患者のQoLに大きな影響を与える併存疾患を伴うことが多いです。
- 乾癬性関節炎の特性や影響、そしてその症候や関連する症状についての理解が不足しています。
- それにもかかわらず、乾癬性関節炎の管理にはまだ不確定な要素があり、ガイドラインも不明確であるため、良好な転帰に至るのは困難です。
- GRAPPAの治療ガイドラインは、併存疾患を考慮し、関連疾患の予防と治療のために最善の治療を提供します。

乾癬性関節炎と メンタルヘルスに関する 情報

乾癬性関節炎は患者のこころの健康に重大な影響を及ぼし、落胆、失望、羞恥心、低い自尊感情などを引き起こす可能性がある

乾癬性関節炎と ストレス、不安、うつとの関連

乾癬性関節炎の感情面への影響は、自分が自分自身を孤立させ、他者から引きこもり、または不安発作に苦しむ原因となります。ストレス、不安、およびうつはまた、より関節炎の症状の悪化や乾癬の再燃を誘発することがあります。

何度も医師に意見を求め、何度も検査を受けるという行為によって精神的に参ってしまい、不安やストレスのレベルを高める可能性があります。

乾癬性関節炎はこころの健康に影響を与え続け、将来や毎日の仕事ができなくなることへの不安につながります。人との付き合いやさまざまな活動に参加ができなくなると、孤独を感じるようになり、痛みが他人から見えなくなってしまうこともあります。

気分をよくするには？

精神的な幸福を得るための
ヒントをいくつか紹介しましょう。

- ヨガやマインドフルネス、瞑想などの活動
- 心理学的または精神医学的治療
- 乾癬や乾癬性関節炎の患者会に参加することは精神的な大きな支えになります。
- 患者にとって精神的な支えとなる友人や家族との関係を維持することは重要です。

GRAPPAの治療ガイドラインはあなたの主治医がメンタルヘルスについて話すことをサポートしていますか？

GRAPPAガイドラインは乾癬性疾患の治療計画の一部としてメンタルヘルスに取り組むことの重要性を認識しています。心理学的介入に加え、医療従事者はうつ病や不安神経症を管理するための薬物治療的介入を適宜考慮すべきであるとガイドラインは推奨しています。

はい、GRAPPAガイドラインは、乾癬性疾患がこころの健康に及ぼす影響に言及しています。

このガイドラインは医療従事者が不安、抑うつ、QoLなど患者のこころの健康と幸福を評価し、モニターすることを推奨しています。

また、ガイドラインは認知行動療法、ストレス管理、患者教育などの心理的介入や支援を乾癬性関節炎の全体的な治療計画の一部として考慮すべきであると示唆しています。

全体として、GRAPPAガイドラインは患者の身体的および精神的な健康を考慮した乾癬性疾患管理への総合的なアプローチの重要性を強調しています。

[ダウンロード可能な資料はこちらから。](#)

親密さや性と生殖に関する健康

乾癬性関節炎は性的健康にも大きな影響を与える可能性があります。過去40年間に行われた研究によると、乾癬性関節炎患者では性的な困難さがよく見られ、最大70%の患者がそのような困難を報告しています。

それは関節痛、腫れ、こわばり、可動域の減少、爪の変化、皮疹、疲労感などを引き起こすことが多い慢性炎症性自己免疫疾患である乾癬性関節炎を患っているからです。このことは日常生活に影響を及ぼします。





生殖年齢にある女性には個別治療が必要なさまざまな症状がある

GRAPPAの治療ガイドラインでは、乾癬性関節炎のある人が自分の気持ちを医療従事者と話し合い、自分に合うものが見つかるまでさまざまな選択肢を試してみるよう提唱しています。



GRAPPAが推奨する治療に情報を与える最新の文献レビュー

- GRAPPAが推奨する治療は乾癬性関節炎の薬物治療に関する最近の研究を含めるようにアップデートされた文献レビューに基づいています。
- 治療を受ける際には、家族計画の必要性について考えることが大切です。つまり、子供を持ったり、妊娠を避けたりする計画を考え、受ける治療があなたの目標にふさわしいものであることを確認することです。
- ガイドラインに記載されている治療法の中には、妊娠中に使用しても問題ないものもありますが、成長過程にある赤ちゃんにとって有害になる可能性のあるものもあります。また、母乳で育てる場合、母乳への移行によって赤ちゃんに影響を及ぼす可能性のある治療法もあります。
- 特定の治療法について医師に相談することを忘れないでください。

Copyright Notice

www.jrheum.org

Copyright © IFPA 2023 Inc. All rights reserved.
[Terms of use](#) | [Privacy Policy](#)

good
care
for Psoriatic Arthritis 